

事業者団体調査(福島県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
福島県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修	社会福祉施設でリスクマネジメントを担当する職員。[1施設1名。]	講義「施設事故の現状と安全の基本」 講義・演習「事故発生の背景要因分析」	1回	1カ所	5時間(1日)	182人	2,000円	-	-
	介護福祉士受験準備講習会	平成21年度介護福祉士国家試験を受験しようとする方(200名定員)	障害者福祉論等	1回	1カ所	8日	199人	16,000円	-	-
	社会福祉施設指導的職員研修	社会福祉法人が経営する社会福祉施設(民間保育所を含む)で、主任、係長等の役職にある職員。ただし、全プログラム(3日間)の受講を原則とする。	講義「福祉サービスの理念・動向と指導的職員への期待」等	2回	1カ所	18.5時間(3日)	120人	5,530円	-	-
	職場研修担当職員研修	社会福祉施設において職員研修を担当している者。	講義・演習「これからの福祉人材育成と職場研修」「職場研修の考え方と推進方法①」等	1回	1カ所	11.5時間(2日)	69人	5,040円	-	-
	職場研修担当職員フォローアップ研修	社会福祉施設において職員研修を担当している者	講義・演習「職場研修の考え方と推進方法」等	1回	1カ所	5時間(1日)	45人	2,000円	-	-
	社会福祉施設新任職員研修	社会福祉法人が経営する社会福祉施設(民間保育所を含む)で業務経験2年未満の職員(主として新採用職員、業種・職種は問わない)	講義「福祉サービスの理念・動向と新任職員への期待」等	5回	1カ所	18.5時間(3日)	313人	5,530円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	-	-

事業者団体調査(茨城県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
茨城県社会福祉協議会	平成21年度在宅介護指導者研修	社会福祉法人が運営する訪問介護事業所のサービス提供責任者	訪問介護事業所のサービス提供責任者として、従事者やサービス利用者に対する指導・助言・支援を行ううえで、必要とされる専門的知識・技術を身につける。	1回	1カ所	10時間(2日)	17人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	・平成21年度の在宅介護指導者研修参加対象者が限定され、参加者が少数であり、今年度については、研修内容は変更せず、研修名を変更し、また、参加対象者を拡大し、多くの参加者を募る。	・各種社会福祉施設長等が、研修会の目的を理解していただき、多くの参加者を募ることが必要。

事業者団体調査(栃木県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
栃木県社会福祉協議会福祉人材研修センター	社会福祉施設新任職員研修会(前期)【委託】	新たに社会福祉施設に従事し、経験年数1年未満の職員	講義『県政の動向について』 講義『福祉の仕事に携わって』 講義『対人援助と社会福祉の視点』	高齢分野、障害・児童分野 各1回	1カ所	5時間(2日)	332人	0円	5,873,919円	総事業費は、報告研修以外を含む全委託研修実施にかかる決算額を記載。
	社会福祉施設新任職員研修会(後期)【委託】	社会福祉従事経験年数1年未満の職員で、原則として5月に開催した新任職員研修会(前期)を受講した者	講義『信頼されるスタッフを目指して』 講義・演習『元気に創造 とちぎの福祉～今までの自分とこれからの自分～』	高齢分野、障害・児童分野 各1回	1カ所	5.5時間(2日)	249人	0円	-	-
	社会福祉施設指導監督職員研修会【委託】	社会福祉施設(保育所・行政を除く)、介護保険施設における事務長クラスの中間管理職員(施設長、副施設長、公立施設職員は除く)	講義『実践ビジネスコーチングスキル』	1回	1カ所	5時間(1日)	54人	0円	-	-
	平成21年度社会福祉施設中堅職員研修会【委託】	保育所を除く社会福祉施設の職員で、経験年数5年以上かつ主任や係長等、指導監督職位の中堅職員である者	講義『職場のリーダーシップ』	1回	1カ所	5時間(1日)	52人	-	-	-
	老人福祉施設生活相談員等研修会【委託】	老人福祉施設・介護保険施設の生活(支援)相談員、看護職員、介護職員等	講義・演習『尊厳ある看取りを実践するために』	1回	1カ所	5時間(1日)	103人	0円	-	-
	老人福祉施設機能訓練指導員等研修会【委託】	特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターに勤務する、経験年数5年以下の機能訓練指導員または機能訓練指導員としての勤務が予定されている者	講義・演習『施設における機能訓練』	1回	1カ所	5時間(1日)	27人	0円	-	-
	ケースワーク講座【委託】	受講を希望する社会福祉従事者(保育所を除く)	講義『ケースワークの視点を学ぶ』	1回	1カ所	5時間(1日)	142人	0円	-	-
	カウンセリング(コミュニケーション技術)講座【委託】	(1)社会福祉行政職員で相談業務に従事する者 (2)社会福祉施設職員(保育所を除く)で相談業務に従事する者 (3)その他社会福祉関係職員で相談業務に従事する者	講義『カウンセリング研修(基礎)』 講義『カウンセリング研修(応用)』	1回	1カ所	20時間(4日)	39人	0円	-	-
	古武術式介護講座【独自】	老人福祉施設従事者で受講を希望する者	講義・演習『古武術式介護講座』	2回	1カ所	2時間(1日)	83人	2,000円	273,560円	総事業費は、報告研修以外を含む全独自研修にかかる決算額を記載。
フットケア講座【独自】	老人福祉施設または身体障害者施設従事者で受講を希望する者	講義・演習『フットケア講座』	1回	1カ所	4時間(1日)	56人	2,000円	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・委託研修について 毎年定員を超える研修があるが、受講料を徴収していないため、予算減の状況において実施回数を増やすことができない。 ・独自研修について 内容による参加人数の予測が難しく、参加しやすいよう受講料を低く設定しているため、謝金が高額となる講師に依頼することができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の入りやすい時期を避けて開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講料に対する補助

事業者団体調査(千葉県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
千葉県社会福祉研修センター	高齢者福祉施設 新任職員	・高齢者施設職員	正しい基礎知識の習得と、基本的なマナー及び職場におけるコミュニケーションとチームワークを学ぶ。	2回	1カ所	11時間(2日)	229人	6,000円	-	-
	障害者福祉施設 新任職員	・障害者施設職員	正しい基礎知識の習得と、基本的なマナー及び職場におけるコミュニケーションとチームワークを学ぶ。	1回	1カ所	10時間(2日)	88人	6,000円	-	-
	在宅新任職員	・事業所従業者	在宅サービスの利用者理解を深め、職員としての資質と福祉サービスの質の向上に資する。	1回	1カ所	10時間(2日)	55人	6,000円	-	-
	指導的職員Ⅰ	・実務経験3年以上の施設職員	指導的職員に期待される基本的役割を理解し、必要となる知識や技能を学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	41人	5,000円	-	-
	指導的職員Ⅱ	・実務経験5年以上の施設職員	記録の意義について学び組織の強化と、利用者支援の向上につなげる。	1回	1カ所	5時間(1日)	90人	5,000円	-	-
	接遇・マナースキルアップ	・施設の指導的職員	施設・事業所での接遇等に関する教育指導者を育成する。	3回	1カ所	5時間(1日)	135人	5,000円	-	-
	リスクマネジメント	・施設介護職員	リスクマネジメントの基本的な考え方を学び、より安全な利用者支援につなげる。	1回	1カ所	5.5時間(1日)	158人	6,000円	-	-
	ストレスマネジメント	・施設指導的職員	福祉職自身のストレスに対するセルフケアと組織内でのラインケアのあり方、対処法を学ぶ。	2回	1カ所	5時間(1日)	75人	5,000円	-	-
	高齢者虐待防止	・施設介護職員	福祉現場や家庭等で起こりがちな事例を通して、虐待防止のための具体策を学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	66人	6,000円	-	-
	介護実技	・施設介護職員	移乗・移動など基本的な介護技術を習得する。 (要介護者の理解とコミュニケーションのとり方など)	5回	1カ所	15時間(2日)	140人	8,000円	-	-
	介護技術再点検	・施設介護職員	介護技術の基礎に関する知識及び技能を再点検することにより、適正な介護技術を習得する。	2回	1カ所	5.5時間(1日)	78人	8,000円	-	-
	転倒・転落予防	・施設介護職員	転倒・転落事故に関する対応について、介護及びリハビリの視点から身体の見と周辺の環境整備を学ぶ。	2回	1カ所	5時間(1日)	175人	6,000円	-	-
	認知症ケア	・施設介護職員	脳と木蠟の基本的知識を基に、BPSD(認知症の疾患)別特徴とケアのポイントを事例を通して学ぶ。	3回	1カ所	10時間(2日)	152人	6,000円	-	-
	施設ターミナルケア	・施設介護職員	終末期における利用者へのケアの実践を学び、家族との関わりなどについて学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	89人	5,000円	-	-
	在宅ターミナルケア	・居宅介護職員	終末期における利用者へのケアと家族を支えるための知識・姿勢を学ぶ。	1回	1カ所	5.5時間(1日)	43人	5,000円	-	-
	口腔ケア	・施設介護職員	摂食・嚥下障害の基礎知識をはじめ、食事介助の基礎技術を習得する口腔ケアを学ぶ。	3回	1カ所	4時間(1日)	184人	6,000円	-	-
	救急法基礎	・介護職員	施設内において障害・急病等の事態が生じた際の応急処置などを実践的に学ぶ。	5回	1カ所	4.5時間(1日)	195人	5,000円	-	-
	身体拘束廃止	・施設介護職員	身体拘束廃止を実践するための必要な考え方を学ぶ。	1回	1カ所	10時間(2日)	21人	8,000円	-	-
	感染症対策	・介護職員	感染症対策についての理解を深め、感染症に関する正しい知識を習得する。	1回	1カ所	5時間(1日)	74人	5,000円	-	-
	新人職員福祉入門講座	・新採用職員	新任職員に必要な社会福祉援助技術の知識を学ぶ。 (新任職員の心構え、対人援助の基本姿勢)	1回	1カ所	5時間(1日)	295人	5,000円	-	-
コミュニケーション・対人援助技術	・援助職員	コミュニケーションの基本姿勢と対人援助の基本を学ぶ。	2回	1カ所	10時間(1日)	133人	5,000円	-	-	

事業者団体調査(千葉県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
千葉県社会福祉研修センター	ケースカンファレンス	・施設介護職員	カンファレンスの理論と実践を学ぶ。	2回	1カ所	5時間(1日)	131人	5,000円	-	-
	アクティビティ・サービス	・高齢者施設職員	日常生活援助技術を習得し、より高度な福祉サービスに寄与する。	1回	1カ所	11時間(2日)	24人	10,000円	-	-
	スーパービジョン	・介護支援専門員等	スーパービジョン実践の基礎知識と実践を学ぶ。	1回	1カ所	11時間(2日)	23人	6,000円	-	-
	居宅ケアマネスキルアップ	・介護支援専門員等	介護保険改定のポイントを学び、適正な運用を学ぶ。	2回	1カ所	2.5時間(1日)	192人	6,000円	-	-
	サービス提供責任者	・提供責任者 ・管理者	サービス対象別の適正な事業運営ポイントと登録ヘルパーへの指導・育成手法について学ぶ。	1回	1カ所	10時間(2日)	79人	6,000円	-	-
	医療的行為基礎知識	・施設介護職員等	医療的行為の基本的な知識と理解を深め、業務に必要不可欠な医療知識を実践的に学ぶ。	2回	1カ所	5時間(1日)	141人	6,000円	-	-
	食事サービス	・施設介護職員	食事ケアや食中毒等に関する衛生管理と栄養管理を複合的に学び、介護職員としての食事介護の姿勢について学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	88人	6,000円	-	-
	高次脳機能障害	・施設介護職員	具体的な事例を通して、高次脳機能障害に対する正しい知識を習得し、援助のあり方を学ぶ。	1回	1カ所	5.5時間(1日)	116人	6,000円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
福祉従事者の離職等により、質の確保やキャリアパスの構築が難しい。研修への参加目的が、公表や評価対策になっていると感じることがある。介護実技の研修等が必要だが、環境的にも大人数の実施が困難である。建物(研修センター)の老朽化に伴い、研修を行う快適な環境ではない。	県社協のホームページ等で年間研修計画等を周知している。「研修ネット予約システム」を導入し、24時間体制での申込みを可能とした。福祉の総合知識ではなく、専門性を深める研修企画にシフト(変更)している。今年度より、受講履歴管理の出来る「自己管理カード」を導入した。	応分負担による研修体系では、施設、事業所等の負担が大きく、受講者の知識習得に対する目的や意識・モチベーション等が上がらないように感じる。したがって、公的補助による現行研修体系にし、一定の受講義務を与え、段階的に知識等が習得できるシステム(例えば階級性の導入や、地位の保証など)を構築することにより、離職防止にもなり専門性の高い人材育成に役立つと考える。

事業者団体調査(東京都福祉人材センター)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
東京都福祉人材センター	認知症介護研修	東京都内介護保険施設・事業所に従事している介護職員	認知症介護実践者研修	8回	1カ所	6日(職場実習2週間)	660人	-	-	東京都委託研修
		認知症対応型サービス事業管理者研修	6回	1カ所	2日(他施設実習1日)	321人	-	-		
		小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	4回	1カ所	2日	50人	-	-		
		認知症介護実践リーダー研修	2回	1カ所	8日(他施設実習5日/職場実習4週間)	80人	-	-		
		認知症対応型サービス事業開設者研修	2回	1カ所	1日	32人	-	-		
中堅介護職員のための総合的・専門的・継続的研修	都内高齢者福祉施設において、介護福祉士資格を持ち、新任者を指導する立場にある介護職	熟練者志向のキャリアアップ～新任者に伝える移動介護～	1回	1カ所	5日	52人	-	-	養成機関との共同開催 研修室独自事業	
介護職員スキルアップ研修	東京都内介護保険施設・事業所に従事している介護職員	・医療的知識の必要性について ・高齢者の身体と疾病の特徴 ・状態の観察と緊急時の対応 ・医療的な配慮が必要な利用者等に対するケア ・演習 他	4回	2カ所	3日	600人	-	-	東京都委託研修(都単独事業)	
訪問介護サービス提供責任者研修	港区内の訪問介護事業所サービス提供責任者	・サービス提供責任者の業務理解と訪問介護計画書作成プロセスを確認する ・訪問介護計画書の見直し～モニタリングを中心に支援に活かす	3回	1カ所	3日	109人	-	-	港区委託事業(区単独事業)	
訪問介護事業所における業務の標準化を学ぶ研修	・都内訪問介護事業所を管理・監督する立場の方 ・都内訪問介護事業所で標準化を推進する立場のサービス提供責任者の方	・標準化とは何か ・訪問介護事業所における標準化の必要性 ・自事業所における標準化の取り組み ・実践プラン作成 ・発表 ・まとめ	1回	1カ所	1日	300人	-	-	独自事業	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
	<p>①介護保険の事務作業の繁忙期を避けるような日程で研修を組むようにしている。(毎月10日の前の数日)</p> <p>②広域型研修だけでなく、地域型研修(区市町村単位)により地域内の居宅系事業所のための研修の実施へ支援協力を行っている。</p> <p>③本会の研修は、受講対象者の業種を限定した一部の研修を除いて、介護職員が受講可能なものとなっている。</p>	<p>常に求められる課題を整理して、研修テーマの設定を行うこと。</p> <p>キャリアパスシステムの中で、一人ひとりの受講履歴が処遇に反映されるような仕組みを作り上げていくことで、介護職員の参加を促す。</p> <p>施設や事業所による研修体系の構築とその実施が、介護報酬に反映されるような仕組みづくり。</p>